

2019年3月28日

関西3空港の一体運営1周年を受けてのコメント

関西エアポート株式会社 代表取締役社長 CEO 山谷佳之と代表取締役副社長 Co-CEO エマヌエル・ムノントは、関西3空港（関西国際空港、大阪国際空港、神戸空港）の運営開始から1年を迎えることを受け、以下のとおりコメントしております。

「関西エアポートグループが2018年4月に関西3空港の一体運営を開始してから、1年を迎えましたことを大変嬉しく思っております。多くのお客様にご利用いただきましたこと、関係者の皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

ひきつづいての旺盛なインバウンド需要や、新規就航、増便・機材大型化等を受け、お陰様で2018年度の3空港の利用者数は、過去最高を記録する見込みです。2019年度は、さらに多くのお客様をお迎えすべく、3空港合わせて旅客数5000万人以上達成を目標に掲げております。

また、昨年台風21号による被災から学び、新BCPの確立、ステークホルダーとの連携強化を進め、すべてのお客様に安心・安全にご利用いただけるよう「災害に強い空港づくり」に向けて引き続き全力で取り組みます。

今後関西では、2019年にG20大阪、ラグビーワールドカップ、2021年にワールド・マスターズ・ゲームズ、2025年に大阪万博と大型国際イベントが次々と開催されます。国内外からのお客様をお迎えする空の玄関口として、役割をしっかりと果たす所存です。

関西エアポートは、これからも3空港を「関西のひとつの空港システム」、ワンエアポートとして、リソースの最大活用を図り、さらなる利用者の利便性の向上をめざし、関西・日本の発展に貢献してまいります。」

関西エアポート株式会社
企画・管理部 広報・ブランディングチーム
Tel.072-455-2201